

孔子が現代社会に与えている影響

1. はじめに

私が留学しているここ曲阜市は、中国の思想家で儒教の始祖である孔子の故郷である。曲阜市には孔子にゆかりの史跡があり、街中に論語の一節が書かれてある。私の場合、後期から儒教に関する授業が行われたり、三孔や孔子博物館を訪れたり孔子について学ぶ機会が多かった。その儒教の授業で、先生が「現在の学生も中国の伝統的な文化や礼儀を学ぶ・守るために孔子の論語や儒学を学んでいる。」とおっしゃっていた。そこで私は、儒教がどのように現代社会に継承され影響しているのだろうかということについて考えてみることにした。

2. 孔子について

孔子は、公元前 551 年 9 月 28 日に魯の国（現在の山東省）曲阜市の尼山で誕生し、名は丘、字は仲尼であり、「孔子」の「子」は敬称である。春秋時代末期の中国古代の思想家、教育家、儒教の学派の創始者である。孔子の誕生については、『虎乳鷹打扇』という伝説がある。一孔子は生まれたばかりの時容姿が酷く見苦しかったため両親は尼山に捨ててしまった。虎が幼い孔子を見つけ洞窟で乳を飲ませ、暑かったため鷹が翼で風を送った。その後後悔した両親が孔子を家に連れて戻り両親の下ですくすく育った¹。――

3. 孔子の教育思想

孔子は私立学校を設立し、約 3000 人の学生がいたという。孔子の教育思想は主に 2 つある。

（1）「有教無類」

これは、人間は教育によって良くも悪くもなり生まれついた性質に違いはないということの意味している。孔子が生きた時代には貴族の子弟だけが教育を受けることができるという身分制度が存在し、文化教育が官府に独占されていた。そのような時代にあって、孔子は、教育によって人間の能力や素質が向上していくという可能性を強く信じており、私学を設立し誰にでも学び実践する場を提供した教育家である。

（2）「因材施教」

これは、それぞれの学生に対して異なる教育を施すということの意味している。孔子は

¹ 儒教の授業で習った内容とレジメを参照

復習によって新しい知識を習得することができると考えており、学習態度は誠実であるべきと教育したと伝えられている。

曲阜師範大学の校訓は「学而不厭、誨人不倦」である。学びに飽きることはない、人に教えて飽きることはないという意味で『論語』の述而篇にある言葉である¹。

4. 孔子の主な思想

孔子の道德思想の徳目は忠、孝、仁、義、礼、智、信、恕など多方面に渡る。

(1) 仁（任愛）

「仁」という漢字は“人”と“二”で構成されており、人を愛すること、他者を思いやることを意味している。当時の世の中の乱れは、他人を思いやる愛情が失われていったことが原因で、思いやりを大切にして人を愛する心を取り戻すことが必要だとして「仁」が最も重要だと位置付けた。

(2) 礼

「仁」はあくまで人間の内面にある情で他人に伝わりにくいことから、「仁」が態度や行為として外面に表れたものを「礼」と呼んだ。「仁」と「礼」を結び付け、行動として正しく復興させることで社会秩序を再建しようとした。

(3) 孝（孝順、孝敬）

父母を敬愛し子としての道を尽くすことを意味している。父母に順じることや父母を喜ばすことだけでは孝にはならず、孝であるにはまず敬することが必要と説いている。

(4) 信（誠信）

友情に厚く、真実を告げること、約束を守ること、誠実であることを意味している。

(5) 忠

友人関係に用いられ誠意を尽くす、真心を尽くすことを意味している。

(6) 義

「義」とは「宜」つまり理にかなうということの意味している。

(7) 智

『論語』の中では「知」と表記されており、自分が知っているのか知らないのかをはっきり認識することを意味している。

(8) 恕 shu4

「恕」とは思いやりを意味しており自分がされたくないことを人にしてはいけないということの意味している¹。

5. 『論語』とは

孔子の弟子たちが、孔子の死後 300 年後にその教えを書物『論語』としてまとめた。弟子たちはその『論語』をもとに、孔子の教えの核である「身分制秩序の再編と仁道政治」を奉じて教団を設立した。その教団が「儒家（儒教）」で、現代の中華圏を中心として大

きな影響を与えている。また『論語』は日本人が手にした最も古い書物とされており³、日本の一番古い歴史書『日本書紀』に応神天皇の時代に百済の和仁によって『論語』と『千文字』が伝えられたと書かれてあるそうだ²。

6. 「儒教」と現代社会

近年、「儒教」が説く倫理観が、経済活動における経営倫理や企業精神に通じるものがあるということで注目を集めている。中国・韓国・日本などの「儒教」文化圏が急速な経済発展を遂げたことや金融危機以後に混乱した経営倫理を立て直すため、「儒教」の示す倫理観や道徳が役に立つのではないかと考えられたためである³。中国・韓国・日本は共に「儒教」文化圏と言われているが、その「儒教」に対する立ち位置は異なる。

(1) 中国

中国は「儒教」の発祥地であり、人生観、生活感、幸福感、世界観に加えて、生活の知恵として捉えられており、中国民族のアイデンティティに関わる思想ともいえる。

1966年～1976年の10年間毛沢東の儒教に対する否定的な考え方により文化大革命の間破壊され、社会的混乱と一般市民のモラルが破壊し、ルールを守らない、自分の利益をしか考えないという考えが広まった。そのため国の繁栄どころか、経済成長もとどまるという事態の深刻さに対応するため、「儒教」の排除は中国が中国でなくなることを意味するという考えが広まり、21世紀に入って再評価されるようになった。

21世紀からの取り組みとして、孔子の生誕を祝う祝典が国家行事として執り行われ、『論語』を積極的に学校授業に取り入れるようになった。中国国内の義務教育の現場では、儒教や伝統文化を参考にする教育が盛んに進められており、儒教を中国文化の普及の軸として世界中に発信している。孔子学院が2004年に中国で設立され、2010年10月までに96の国と地域において、大学に附属するという形で332校が設置されるなど中国文化に対する世界各国の理解の促進を象徴している⁴。また2010年年初に国策映画とみられる「孔子」が公開されたり、2011年1月11日天安門広場に隣接する中国国家博物館に孔子像が建てられたりと儒教の復活を印象付けた。

私たち日本人の中国に対して持っているイメージとしてマナーや礼儀がない、街にごみを捨てる、国家間の問題や反日デモが起こるなどが挙げられるなど良いイメージを持っている人は少ないのではないのだろうか。儒教発祥の地であるにも関わらず儒教のイメージ

² 歴史上の偉人が学んだ「論語」 マリアンママの流れ星み～つけた
<https://gamp.ameblo.jp/marianmama29/entry-11462532327.html> 最終閲覧日 12/19

³ 儒教とは何か？その教えと現代ビジネスとの関係をわかりやすく解説！
<https://career-picks.com/business-yougo/jukyo/> 最終閲覧日 12/16

⁴ 宗教観に対する日中韓の違い
<https://www.nippon.com/ja/column/g00072/> 最終閲覧日 12/16

よりも現代では中国に対するマイナスのイメージの方が強いと感じる。その原因として中国の「儒教」に対する一時的な否定的な考えが影響しているのだと分かった。そのため中国の学生は今もなお『論語』を音読し学習するなど中国の伝統と文化を守ろうとしているのだ。

(2) 日本

日本では特に「朱子学」が知識人階層に影響を与え、江戸時代徳川幕府が「朱子学」を正学として採用し、明治維新につながる思想の土台を築いた。その後、近代日本においては政財界人を含めた幅広い日本人の思想に「儒教」は大きな影響を与えた。

2016.1の産経ニュース⁵によると、古来日本人が学びの中心に位置づけてきた名著を、学校教育や生涯学習に取り入れる動きが活発し「論語指導士」という資格が登場するという。これは家庭や地域で論語教育を行なえる人材を増やそうという試みで、選択式と記述式を合わせた資格取得試験を年2回実施し、合格者に認定書を授与するというものである。そして平成30年度以降には小中学校で正式な教科として道徳科が全面実施されるのを前に徳育が注目されている。佐賀県鳥栖市は文化相が指定する教育課程特例校制度を活用し、市内の小中学校に新教科「日本語」を導入し、その学びの柱に『論語』を据えている。また福岡市で活動する「素読ラボ福岡」は論語などの漢文や古典を声に出して読むことで、伝統文化に親しみを覚えさせようという取り組みもある。

このように日本では、現在でも『論語』を重要視しており、私たちの生活にも『論語』の影響を大きく与えている。日本人の親切さや思いやり、礼儀などからは『論語』のさまざまな言葉を思い出させてくれる。

(3) 韓国

「儒教」は朝鮮半島に伝わり李氏朝鮮王朝は「儒教」を国教とし、朝鮮半島は「儒教の模範生」とされた。このため現代の韓国においても、「儒教」は中国と同様に民族の思想的背景として倫理的な根幹をなしている。

国民の心に最も根付いている儒教の教えとして「長幼の序」がある。韓国では年長者や社会的地位の高い人、お年寄りを敬う意識が日本に比べると非常に高く、「仁」は何においても尊重しなければならない。次に「親孝行」である。「忠と孝」の「孝」を重んじており、親の死に目に会えない、あるいは親よりも先に死ぬということは韓国では最大の不徳とされている。

このように現在の韓国人の心にも儒教の影響が根付いている。しかし韓国は中国から儒教が伝わった国であるはずが、キリスト教の国になったと言われている。私の韓国人の留学生もキリスト教徒であることに驚いた。2012年の統計では韓国のプロテスタント教徒は1100万人に達し、カトリック教徒500万人を加えるとキリスト教徒は韓国の人口の3分の

⁵ 「論語教育」が活発化 新資格も登場地域で学ぶ場を

<https://www.sankei.com/smp/life/news/160106/lif1601060016-s.html> 最終閲覧日 12/16

1 を占めていると指摘した。その理由として、韓国は政治と経済面で米国から大きな影響を受けたことや、周辺諸国から長年にわたって干渉されてきた韓国がロシアや中国、日本と一線を保ち続けるためにキリスト教を選んだのではないかとされている⁶。

以上の様に「儒教」文化圏と言われている 3 か国でも「儒教」に対する考えや位置づけは異なる。そして「儒教」の現代社会への影響は非常に大きく、中国や韓国の国民感情を理解する上でも、儒教の思想を理解するのはとても重要なことであると考えた。

7. 最後に

今回のレポートでは「儒教」の授業で学んだことを中心に孔子と孔子が現代社会に与えている影響について簡単に述べたが、調べるにあたってまだまだ孔子について知らないことは多く興味深いものである。孔子が私たちに与えている影響は現在でも大きく、私たちと孔子「儒教」は切っても切れない関係であることをこの曲阜師範大学での留学生活を通して改めて感じた。今月で留学生活は終了してしまうが、孔子と「儒教」についてさらに理解を深め、現代そして未来の私たちの生活にどのような影響を与えどのような変化が生じているのかを考えてく必要がある。



孔子博物館（山東省曲阜市孔子大道 100 号 曲阜師範大学からバスで約 40 分）



孔廟（山東省曲阜市神道路 1 号 曲阜師範大学から歩いて約 20 分）

⁶中国から儒教が伝わった韓国、なぜキリスト教の国になったのかー中国メディア

https://www.excite.co.jp/news/article-amp/Searchina_20190621001/ 最終閲覧日 12/16